

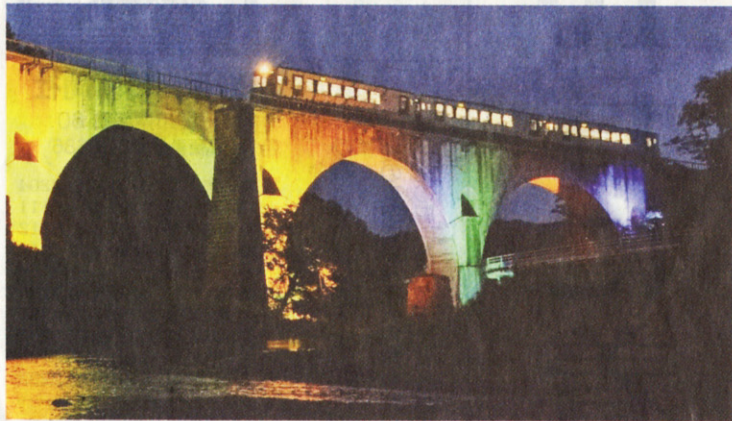


日暮れとともにライトで浮かび上がるアーチ状のめがね橋。辺りを包む暗闇との対比が鮮やかだ。橋上を走る列車はそのまま夜空へと駆け上っていきそうな雰囲気

を漂わせる。SL 銀河のポスターなどにも使われ、多くの写真愛好者を引き付ける沿線のシンボリックな場所となっている。

めがね橋の正式名は宮守川橋梁。同じJR釜石線の達首部川橋梁「岩根橋」と共に、宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」の世界を思わせる景観として親しまれている。めがね橋の脇には岩手軽便鉄道時代の橋脚があり、名残を伝えている。

イーハトーブの夜を体感してもらおうと、めがね橋を訪れるツアーもある。題して「カムパネルラ号で『銀河鉄道の夜』を巡るツアー」。花巻温泉郷の宿泊客らを主な対象として2013年度に始まり、今年度も9月末まで実施され



ライトアップされるためがね橋の上を通過する列車



汽笛が聞こえる

る。レトロジャンボタクシーに乗って遠野市宮守町へと向かい、列車が通過するところを眺められるのが人気だ。

「施設巡りとは趣の違う夜のツアーの新鮮さで家族連れや年配者に楽しんでもらっている」と、ツアーを企画した花巻観光協会の担当者。最初に宮沢賢治童話村の芝生に寝転んで星空を眺める行程だったが、天候の条件もあるため、代わりに花巻駅前のなはんプラザ外壁で上映されるアニメーション「銀河鉄道の夜」を見て出発、帰りに同駅そばの光る壁画「未来都市銀河地球鉄道」に立ち寄ることが多くなっている。

「恋人の聖地」でもあるめがね橋。NPO法人地域活性化支援センターから09年に認定され、道の駅みやもり緑地公園にモニュメントが設置されている。認定のセレモニーでは、遠野高校情報ビジネス校（10年春に閉校）の3年生が未来の恋人に宛てて書いたラブレターが施設を管理するめがね橋直売所に託された。

恋人ができたときに本人に返却し、モニュメントの前で恋人に手紙を渡すのが決まり。卒業から程なくして幸せをつかんだ人もいたそうだ。聖地にあやかって、夕暮れ時にはカップルの姿も。通過する列車を写真に撮った2人は「タイミングが合って良かった」と笑顔を見せ、川辺で幻想的な風景を楽しんでいた。

めがね橋直売所で販売されているSLをデザインした手拭い



道の駅みやもり緑地公園にある「恋人の聖地」のモニュメント

